

# 群馬県がん患者団体連絡協議会

## ニュースレター♪

2011年8月1日 第27号



編集・発行/財団法人群馬県健康づくり財団

## がん政策サミット2011 収穫大！

群馬県がん患者団体連絡協議会 副会長であり、群馬ホスピスケア研究会 代表の土屋さんが東京都で開催されたがん政策サミット2011に参加され、レポートを寄せてくださいました。ここに紹介いたします。

土屋 徳昭

7月16日から18日までの3日間「第5回がん政策サミット2011」が、開催されました。

参加者は約170人と、これまでの人数を大幅に上回ったようです。がん患者「アドボケート」という聞きなれない言葉への理解も一つの大きなテーマでした。

参加者は、患者を中心に、がん対策に取り組む方々が集まって、より良いがん対策の実現のために語り合おうという「場」でした。患者、現場、地域の声を、立場を越えて束ねることは、大切な観点であると思われます。今回は、「四位一体」をキャッチフレーズに、患者関係者のみならず、県の議会などの議員、県庁などの行政担当者、がん拠点病院の医療関係者（医師）と、4つの立場が集まることひとつのポイントでした。なかには、4つの立場いずれもから、合わせて10人前後の出席があった県もあり、まさに「四位一体のかたち」と、注目を浴びました。実は、群馬県もその一つでしたが、議員、行政の方々には、多用なため、十分な時間会議に居られなかったのは残念でした。

プログラムは多彩でしたが、まず、好事例の共有とネットワーキングに関連した一連の内容をご紹介します。初日には参加者全員の自己紹介が恒例です。多数の参加者があるのだけっこう時間がかかるのですが、やはり多士済々のみなさんの活動ぶりの一端をうかがえることは貴重です。「うちの県でもがん対策推進条例づくりが始まりました」といったニュースもたくさん含まれています。

参加者は全国から創意工夫と試行錯誤の末の知恵、経験、好事例などを持ち寄りますが、今回は、「有志による、がん対策好事例の発表」のコーナーで、9つのケースが紹介されました。県や国の政策を動かそうとするもの、自分たちのプロジェクトで地元で実際の変化を早くもたらそうとするもの、かたちはさまざまです。多くの事例が、行政や医療関係者、地域住民などを巻き込んだ取り組みでした。この9つは、全国で展開されている多くの活動の一部ではありますが、多くのヒントを含んでおり、「さっそく同様に取り組みを始めた」、「自分たちの取り組みの改善のヒントをもらった」といった感想も聞かれました。

2日目には、たっぷり時間を使ってみんなで3つのワークショップを行いました。がん対策の個別の中身ではなく、「がん対策の動かし方のノウハウの好事例」を共有することが狙いです。これまで各地で患者がおかれる実態に関するアンケートが行われたり、意見を集めるためのタウンミーティングが開催されたり、がんサミットでも課題解決のためのグループワークを開くなど、さまざまな手法が模索されてきました。がん対策に限らず、政策や事業における方針や計画に関する抽出や評価に使われている手法も多々あります。それを自由に使いこなし、継続的・恒常的に活用できるようにしようというのが狙いでした。

参加者アンケートに基づいてワークのテーマを「がん患者の悩みを解決する」とし、この領域における「現状の課題」、「あるべき姿」、「あるべき姿になることを阻害している要因」、「阻害要因を排除して問題解決をもたらすと考えられる対策」、「その対策の目標と成果をもたらすと期待できる活動の概要」・・・などを考えました。

今回のサミットのワーク実施に合わせ、既存のアドボカシーワークブックの別冊ツールキットとして、「がん対策 課題解決の7つ道具（試作版）」が配布されました。これから、各地でがん対策を検討し継続して評価・改善する作業を行う際に、参考書として活用できるのではないかと思います。

最終日には、参加者が3日間のがんサミットの感想とこれからの抱負を、語りました。具体的な活動方針や目標を述べる方もたくさんおられました。大変ハードでしたが、有意義な会でした。



# 掲示板



## おめでとうございます♪

### ☆ひまわりの会☆

#### 日本対がん協会賞（団体の部） 受賞決定しました

この度、日本対がん協会の協会賞（団体の部）に、ひまわりの会受賞が決まりました。

今年で設立30周年を迎えたひまわりの会は発足当初から「がん征圧共同キャンペーン」を実施し、会報発行、がん電話相談、がんサロンの設置などの数々の取組を認めていただいたものです。

授賞式は9月のがん征圧全国大会で行われ、一柳会長が鹿児島県で賞状を授与されます。

### ☆ポピーの会☆

これまで、私たちががん連協と活動を共にされてきました、協立病院の乳がん患者会「ポピーの会」ですが、休会することになりました。

会員の皆さんはこれからも協立病院のボランティア活動を継続するそうです。

会長の水上さんをはじめ、ポピーの会の皆さんには各種キャンペーンや交流会で一緒に、いつも笑顔でがん検診受診を呼びかけていただきました。

今後も交流茶話会などに気軽に遊びに来てほしいと事務局から伝えました。

## ありがとうございました



### 群馬県がん患者ミーティング2011 今年も開催します

患者会手作りの集会として、これまでも好評だった「群馬県がん患者ミーティング2011」を開催します。

**日時:平成23年11月26日(土) 午後13:00~**

**場所:群馬県健康づくり財団6階大会議室 (前橋市堀之下町16-1)**

患者会によるリレートークや交流茶話会など、皆さんの交流を深めるプログラムを計画中です。ぜひ参加してください。

### ☆ これからの行事 ☆

秋は、がん連協の行事が目白押しです。どうぞご参加ください。

◎ がん征圧共同キャンペーン 9月17日(土)午前10:00~  
グリーンドーム前橋 1000人フラ会場にて

◎ がんと向き合う作品展  
(会場準備 10月5日 午後)  
10月6日(木) 開会式 午前10時~ 作品展 17時まで  
10月7日(金) 作品展 午前10時~ 午後15時  
群馬県庁県民ホール南側



### ...編集後記...

思いがけず長い夏休みだったこの夏、小学生の子どものように時間を忘れて毎日遊びました。中学時代の先生ふたりと会い、本の話、郷土史の話、世界の話など久しぶりに世界が広がりました。時折メタボ対策の話が出ながら、同席した友人(生徒)に叱られて、「〇〇に叱られるとは思わなかった...」と焼酎片手に恥ずかしそうな先生を見て、微笑ましくなりました。まだまだ御隠居への道は遠いので、いつまでも楽しく過ごしてほしいと思いました。

編集担当 荒木 美保

【事務局】  
〒371-0005  
群馬県前橋市堀之下町16-1 群馬県健康づくり財団 総務部内  
電話 027-269-7811